

プレミアム券で地元のよさを再発見

新型コロナウイルスの感染拡大によって打撃を受けている島根県内の飲食店、宿泊施設を支援するため、島根県が2020年7月、国のGo To 事業にさきがけ、県民向けのプレミアム付き飲食券、宿泊券を発行した。県は事業のポイントとして、消費者が入手しやすく公平感のある配布方法と幅広い飲食店の参加と利用を促進するPR、広報の強化を掲げ、弊社が事業を受託した。

券販売は「3密」になる状況を避けること、中山間地域・離島に住む県民が購入しやすくすることを念頭に、購入は▽ウェブ▽電話▽はがき一で受け付けた。引き渡しは特定の場所に人が集中しないよう、弊社販売店の配達網を生かし、各販売店が代金引換をメインに戸別配布した。

宿泊券の購入は当初の予想を大きく上回る申し込みがあり、県は事業開始直後に増刷を決定。県の観光の柱である「美肌」効果をうたう温泉や世界遺産・石見銀山遺跡を巡る格安バスツアーなどオリジナルの旅行商品を開発する地域もあった。東西に長く、離島も有する地域事情の中で、県民の県内観光を活発化させた。「県外客が激減する中で、県内のお客様に助けられた」という宿泊施設の声のほか、利用者からは「県内でも訪れたことのない地域を知るいい機会になった」という意見もあった。飲食券、宿泊券の発行は、地元や近隣を観光する「マイクロツーリズム」や飲料CMのコピー「Discover近所」のように、県民が地元の魅力を再認識することにつながった。

弊社としても、今回の事業を受託したことで、地域経済を下支えする一翼を担えたことに合わせ、新聞配達網を活用し、代引き業務を行ったことは、販売店の新たな売上創出と新聞社の新規ビジネスを考える大きな財産になったと考えている。

山陰中央新報社 ビジネスプロデュース局マネージャー 高橋賢一



宿泊施設も積極的に商品券の利用をアピールした



国立公園・三瓶山のグランピングでくつろぐ宿泊券利用者